

### 1. プロ社会人へ一歩踏み出す

- あなたは期待されている
- 組織で仕事をすることの意義を知る
- プロ社会人をめざすための視点と心構え

### 2. 会社の存続・発展とあなたの役割

- 会社の発展とはどんなことか
- 商品やサービスを通じた価値の提供
- 利益はどのようにして生まれるか
- 利益は社会貢献度のバロメータ
- CSR(企業の社会的責任)とコンプライアンス

### 3. プロ社会人の仕事の基本と進め方

- 仕事とは何かを考えてみよう
- 仕事は指示から始まる
- 報告・連絡・相談はあなたの大切な役割
- PDCAと5W2Hは仕事の基本
- 5Sの重要性和徹底
- 仕事上手になる3つの力
- 仕事力を高める4つの意識

### 4. コミュニケーション力を高める

- コミュニケーションの姿勢
- 社会人らしい言葉づかいができるように
- 自分の考えを話す力をつけよう

### 5. ビジネス文書の基本を押さえる

- 仕事と文書
- ビジネス文書の基礎知識
- 社内文書作成の基礎
- 社外文書作成の基礎
- Eメール・ファックスを使うときの注意点

### 6. ビジネスマナーの基本を身につける

- 社会人らしい身だしなみとは
- 仕事はあいさつから始まる
- 電話対応のマナー
- 来客対応と訪問のマナー
- 酒席でのマナー

### 7. ITの活用による情報収集力の高め方

- 本格的な情報化時代
- 情報と仕事
- インターネットの活用と注意点
- 上手なパソコンの活用術

### 8. 向上心を持ち続ける

- 終わりのない成長への旅
- 社会人の自己啓発
- 知識を広げ、技能を磨く
- 新聞の読み方
- 自分自身を知ろう

### 9. 働きやすい職場にするための課題と経済・法律のキーワード

- 言葉を知ることの意義
- ハラスメント
- メンタルヘルス
- 知っておきたい経済・法律用語

## 2 Professional

# 組織で仕事をすることの意義を知る

あなたが入社する会社は、どのような組織でしょうか。巨大な組織に参加するのでしょうか。それとも、発足してまだ短い初期の組織に参加するのでしょうか。大きな組織なら、分業と流れ作業で効率よく動く組織の中に、ポツンと一人で立っているような気がするかもしれません。また、小さな組織に温かく迎えられながらも、逆に“これでいいのかしら”と不安を感じるかもしれません。

“こんなことをしよう”と、ある目的をもって集まった集団を「組織」といいます。好きな者同士が集まって旅行に行ったり、スポーツをしたりするのを組織活動とはいいません。しかし同じことをしていても、チームとしての目的を決め、それに向かって全員で動き出すと「組織活動」になります。スポーツのチームならチームとしての目標をつくり、まとめ役も選ばなくてはなりません。さらに、チーム活動を円滑に行うために、全員で守りあう最低限のルールも必要になります。こうなると完全な組織活動です。チームのため、目標達成のため、お互いに我慢したり、助けあったりすることが必要になってきます。

会社も同じです。“こんなことをやりたい”“こんな商品をつくりたい”“こんな会社にしたい”という夢や目標を実現するために、会社は創業されます。ほとんどの会社が創業時は、社長一人か数人で始めた仕事ですが、事業が拡大するとともに人数が増え、次第に大きな組織へと発展していったのです。発展するにあたって、組織にはいろいろな部署ができ、仕事は細かく分かれ、多様なルールや約束ごとができました。そのため、新しく組織活動に参加するあなたから見れば、“組織はわかりにくいもの”と思えるかもしれません。

## 組織活動を理解するためのポイント

組織活動を理解するには、次のような観点が重要です。入社してから一つずつ確かめながら、“組織活動とはどんなことか”を理解してください。



### ①目的達成のために仕事を分担しあう

あなたが入社する会社にはいろいろな部署があり、それぞれ仕事別に担当者が決まっています。仕事を専門分野別に分けることで、より質の高い仕事を、効率よくやろうとします。

### ②協力しあって人数以上の成果を上げる

一人ひとりが決められた仕事に責任を持つことと、お互いにカバーしあう関係が組織活動の基本です。つまり、それぞれが担当している仕事をこなすだけでなく、職場全体の役割や目標に関心を持ち、知恵を出しあったり、協力しあうことによって相乗効果を生み、 $1+1=2$ 以上の成果を出すことが目標です。

### ③仕事の進め方を改善する

効率よく仕事をするためには、仕事のやり方を絶えず改善しなければなりません。例えば、今まで手作業でやっていた仕事をコンピュータ化すると、人が担当する仕事の内容や進め方が大きく変化します。場合によっては、部署ごとの役割分担も変わることがあります。このように、会社に必要な仕事をどんな組み合わせで、またどんなやり方をすれば効率的になるか、いつも考えて実行していく必要があります。入社当初は、組織の中でのあなたの位置や重要性がわかりにくいかもしれませんが、あなたが担当する仕事も、ずっと昔は社長がやっていた仕事

のはずです。組織が大きくなり、社長にかわって次の人、また次の人という順であなたが担当することになったのです。

一人ひとりが自分の役割を完全に果たすことによって、組織としての力が発揮でき、目標達成に向けて力強く動けることを理解して、仕事に取り組んでください。

## あ あなたの仕事の前工程と後工程

組織で仕事をするといっても、まだ実際に組織に入っていないあなたには、実感しにくいことかもしれません。仕事には前工程と後工程があり、あなたで始まって、あなたで終わるとい仕事はむしろ稀です。あなたの前後でどのような仕事をやっているかを知ることは、仕事の流れと組織で仕事をするこの意味を理解するのに役立ちます。

次に掲げる「あなたの仕事の前工程と後工程」という表を使い、仕事に少し慣れた段階で、上司や先輩に聞きながら、前工程と後工程を整理してください。

### あなたの仕事の前工程と後工程

仕事の流れ	仕事の内容	誰がやっているか
前工程の仕事		
あなたの仕事		
後工程の仕事		

## 3 Professional

# プロ社会人をめざすための 視点と心構え

## 変化するビジネス社会

経済情勢の厳しさの反映なのか、低価格化の傾向がかなり定着しています。しかし“安ければ売れる”というわけでもありません。ならば“よい商品なら売れる”のかというと、そうとも限りません。問題は“よい”ということの意味をどのようにとらえるかです。具体的にいえば、“よいかどうかを誰が決めるのか”ということです。この視点を抜きに、よい商品づくりはあり得ません。

現実には、“これは、絶対ヒットする”と思った商品が売れなかったり、逆に“どうかなあ？”と心配していたものが予想外にヒットするということが起こっています。その商品がよいかどうかの判断は、商品を提供する側ではなく、それを購入する消費者の側にあるからです。しかもモノが充足している現代では、消費者の“よいかどうかの判断基準”自体が多様化し、絶えず変化するために、商品づくりをますます難しくしています。

“社会の変化をどうとらえるか”は、大変大きなテーマです。まず、ビジネス活動を担う一員となるにあたり、

### 生活者の視点から物事を見て、考える



という視点を大事にしてください。

あなたは、もうすぐ商品やサービスを提供する側の役割を担いますが、一方であなたは、消費者であり、生活者です。消費者・生活者としてのあなたの目で商品やサービス、価格、売り方、店の雰囲気づくりなどを見て、どう感じたかを大切にしてください。

あなたも100円均一ショップに行ったことがあるでしょう。行ってみると、すべて100円であることだけでなく、“こんなものまであるの？”ということに驚かされます。100円という安心感があるためか、お客様は何かを買っています。また、ブ